



1. ゆっくりと集まる



・この作品は歌が好きな方、とくいな方はもちろん、歌が苦手な方、楽譜が読めない方も、様々なスタンスで参加できる合唱パフォーマンスです。

・下記の4つのシーン(楽曲)で構成されています。

1. ゆっくりと集まる
2. 風が呼び、応える
3. 散り散りに、ときに思い出す
4. かすかな妖精の手

・それぞれのシーンでA~Dの好きなパートを選びましょう。

・各パートは、Torus Vil.のアーティストがリードして歌い始めたり、合図を出したりします。

・「1. ゆっくりと集まる」と「2. 風が呼び、応える」では、それぞれのパートが短いメロディをくり返し、それらが重なって生まれる響きが音楽の土台になります。

・「3. 散り散りに、ときに思い出す」には決まったメロディがなく、声を出す際のルールだけが定められています。

・「4. かすかな妖精の手」は、歌詞のついた歌です。

・「1. ゆっくりと集まる」と「4. かすかな妖精の手」は、事前にソリストを決めておきます。

・リズムやタイミングがずれてしまったり、音程がずれてしまったりしても、それを「厚み」として楽しみ、そのまま歌ってみてください。

・「A」、「B」、「C」、「A&D」、「B&D」、「C&D」の6つのパートから、一つを選ぶ。

・各所に散らばった状態から、A、B、Cをくり返しながらか集まる。

・できるだけ3拍子をしっかりと感じるここと。

・「ん」で歌い始め、集まるにつれて「あ」に変えていく。

・A、B、Cが重なり合った響きの上で、ソリストは即興で歌う。

・ソリストがDを一度歌ったら、「&D」のパートが続けてDを一度歌う。

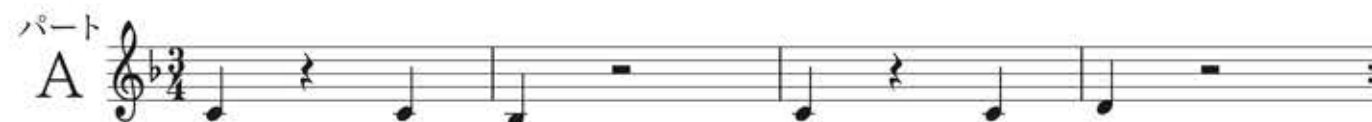
(「A」、「B」、「C」のみのパートはそのまま。)

・別のソリストが即興で歌う。

・ソリストがDを一度歌ったら、「&D」のパートが続けてDを一度歌う。


(「A」、「B」、「C」のみのパートはそのまま。)

・皆で最後の音を伸ばして、終わる。

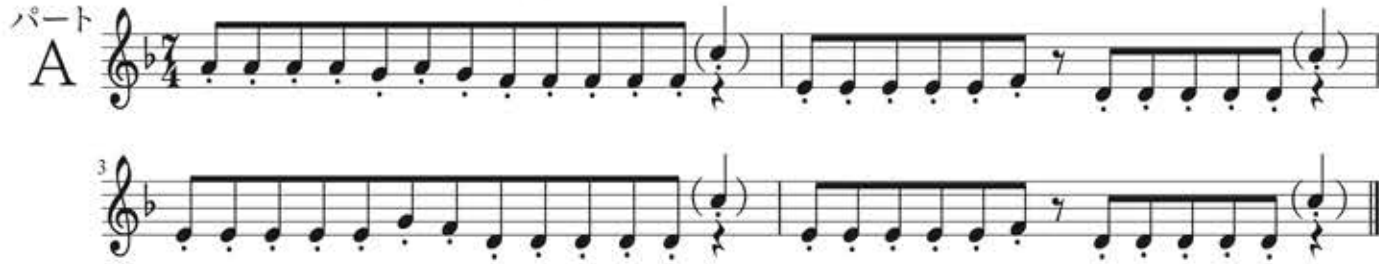



2. 風が呼び、応える





- ・「A」、「B」、「C」、「D」の4つのパートから、一つを選ぶ。
- ・「A」から順に歌い始める。
- ・「A」、「B」、「C」は「ら」もしくは「な」で歌う。「D」は「ろ」もしくは「お」で歌う。
- ・(♪)の音は歌っても休んでも良い。始めは歌わず、少しずつ歌う頻度を増やす。
- ・「D」がやめて合図したら、「B」と「C」もやめる。
- ・「A」の合図で、全員で  を合わせて終わる。

パート A



パート B 合図で  → Aを歌う。合図でやめる。

パート C こぶしの合図で  二本指の合図で 

パート D 低い声で、アコーディオンの音のまねをする。和音の中の音で、感覚的に。

3. 散り散りに、ときに思い出す



- ・ゆっくりとあたりを歩き回りながら、短い声を出す。
- ・声の高さや大きさは自由に。口笛でも良い。一度だけでも、数回まとめてでも良い。
- ・声を出したら、歩きながらしばし周りの声や音に耳を傾ける。
- ・誰かの声に反応したり、まねしたりしても良い。
- ・アコーディオンの音が聴こえたら、立ち止まって深く息を吸い、一息の長い声を出す。
- ・声を出し切り、アコーディオンが聴こえなくなったらまた短い声を出す。


*を3回くり返す。3回目の長い声を出し切ったら終わる。

4. かすかな妖精の手

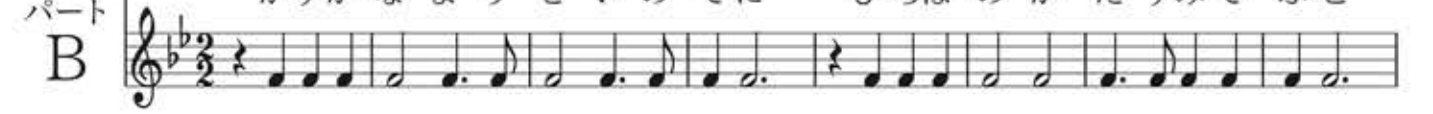


- ・「A」、「B」の2つのパートから、一つを選ぶ。
- ・アコーディオンの伴奏から入り、ソリストが「A」を歌う。
- ・D.C. で始めにもどり、全員で「A」「B」を歌う。
- ・D.C. で始めにもどるが、「A」や「B」ではなく、伴奏の上で自由に声を出す。
- ・D.C. で始めにもどり、高い声の人(子供、女性など)だけで「A」、「B」を歌う。
- ・D.C. で始めにもどり、全員で「A」「B」を歌う。
- ・To Coda から ♯ に飛ぶ。
- ・最後の4小節をくり返しながら歩き去り、終わる。

パート A



パート B



To Coda



D.C.

♯



(X times)

かすかな妖精の手に
広場の片すみでふと
触れたら
風を見る
だれかが